

新春挨拶

年頭のご挨拶

参議院議員
泉 信也



新春の候、皆様には健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は一方ならぬお力添えを賜り、誠に有り難うございました。

平成4年の選挙以来、長年にわたる皆様のご支援のお陰をもちまして、約1年にわたり、国務大臣・国家公安委員会委員長、内閣府特命担当大臣（防災・食品安全）をさせていただきました。心から感謝申し上げます。命じられました任務は、何れも国民の生命・財産を守る大切な業務であり、全力を尽くすべく努めて参りました。特に、在任期間中に起きた東北地方の二つの大地震は地域社会の平穏な生活を脅かしました。これら脅威に対抗するためには、事前の災害防止対策がいかに重要であるかとあらためて痛感いたしました。また治安の確保は、警察などの一組織で取り組むだけでなく、社会全体が挙げて対応すべき事態に至っていることを深く認識させられました。

さて、昨年9月、米国のサブプライムの破綻に始まった、いわゆる米国発の金融危機が、全世界の金融危機と景気後退を招くという事態となりました。比較的影響が少ないだろうと云われていた日本の実態経済にも影響を及ぼし、景気後退の兆しが強まっています。今年、その景気回復に向けた継続的施策を強力に推進しなければなりません。

このため、政府は昨年、臨時国会で第一次補正予算を成立させ、引き続き、第二次補正予算を年明けの通常国会の冒頭に提出することとしています。これは、3段階の経済財政政策により、日本経済立て直しに取り組むもので、当面は「景気対策」、中期的には「財政再建」、中長期には「改革による経済成長」

としています。

2009年度予算編成に際し、与党内からは積極的な財政出動を求める声が続出しました。特に、地域活性化対策には、社会資本（公共事業）の整備が一番の特効薬であるとして、公共事業必要論が声高に論じられました。具体的には、公共事業費のマイナス3%シーリングを撤廃するべきであり、財源は建設国債やむなしという考え方です。今後とも景気の動向を踏まえながら必要な主張を続けて参ります。とりわけ、港湾はわが国産業の国際競争力の強化を図るとともに、地域の活性化と国民生活の質の向上を図る極めて重要な社会基盤であります。更には、大規模地震や津波、高潮などへの対応も急がねばならぬと考えています。

また、中小企業の再生に向けた万全の措置が必要です。更に、少子高齢化の進展という事態のなかで、年金、医療などの福祉政策、消費税をはじめとする税制改革、地域間格差の是正を目指す地域政策など、わが国の今後のあり方を定める課題が山積しています。

今後とも、多くの英知を結集し、光明を見いだすべく努力して参る所存であります。本年もより一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

また、本年は、衆議院議員選挙が行われますが、運輸界の課題の解決に向け、一人でも多くの仲間を国政にお送り頂きますよう、皆様の力強いご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、本年が良き年でありますとともに、社団法人 日本作業船協会のご隆盛をお祈りし、新年のご挨拶といたします。